

科目区分	専門教育科目	授業科目名	領域「健康」の指導法Ⅱ			科目コード	24Y203	担当者	野田 章子			担当形態	単独
対象学科・コース	幼児教育学科	配当年次	1年次	開講学期	後期	単位数	1	必修・選択の別	選択	免許・資格要件	保育士選択		
授業形態	演習	履修条件	「領域『健康』の指導法Ⅰ」を履修済みであること。								教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分	
実務の経験を有する教員担当科目		該当	実務の経験内容及び科目との関連	小学校で教諭として勤務した経験があり、子どもの健康に関して幅広い知識を有している。この経験を生かして、領域「健康」の指導法Ⅱの授業をおこなう。								科目に含めることが必要な事項	

授業の主題	領域「健康」の指導法を理解する	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	模擬保育の評価や感想をフィードバックする
授業の方法	模擬保育の計画、実践をおこない、振り返りの記録と評価をおこなう	アクティブ・ラーニングの実施方法	グループワークでの主体的な学びとする

回数	授業計画	事前・事後学修		
第1回	絵本と運動遊び	事前：運動遊びについて調べる 事後：絵本について調べる		
第2回	絵本を題材とした運動遊びの部分指導計画の作成	事前：指導計画案について復習をする 事後：指導計画案を作成する		
第3回	絵本を題材とした運動遊びの部分指導計画の準備	事前：準備に必要なものを用意する 事後：準備物を制作する		
第4回	模擬保育の実践① 鬼ごっこなど	事前：模擬保育の準備をおこなう 事後：模擬保育を振り返る		
第5回	模擬保育の実践② かけっこなど	事前：模擬保育の準備をおこなう 事後：模擬保育を振り返る		
第6回	模擬保育の実践③ 表現遊びなど	事前：模擬保育の準備をおこなう 事後：模擬保育を振り返る		
第7回	模擬保育の振り返りの記録と評価	事前：模擬保育の振り返りをまとめる 事後：自分の実践について省察する		
第8回	評価を踏まえた指導計画の改善	事前：自分の実践の課題や改善点をまとめる 事後：修正した指導計画案を作成する		
		事前・事後 学修時間 (分／授業1回)		180分／授業1回

教科書 [書名／著者名／出版社]	保育と幼児期の運動遊び／岩崎洋子 編著／萌文書林	受講生へのメッセージ	模擬保育を通して、実践的に領域「健康」の指導法を理解しましょう！
参考書 [書名／著者名／出版社]	保育内容 健康 ―基礎的事項の理解と指導法―／川邊貴子 吉田伊津美 編著／建帛社		

評価基準																		
		学修成果の大分類	学修成果の中分類 〔10の力〕	学修成果の配点比率（％）	評価方法の配点比率（％）					学修成果の小分類			尺度					
					定期試験	臨時試験	提出物	発表内容	受講態度	実習評価	学修成果の到達目標	修得する能力	評価方法／評価指標	レベル5 （S：100～90％）	レベル4 （A：89～80％）	レベル3 （B：79～70％）	レベル2 （C：69～60％）	レベル1 （F：59％以下）
観 点	尽心	態度・志向	① 学習意欲															
			② 規律性															
	創造	知識・技能	③ 知識	30	30						領域「健康」の指導法について理解できる	指導案の作成	指導案	領域「健康」の指導法について十分理解でき、的確な指導案を作成できる。	領域「健康」の指導法について理解でき、指導案を作成できる。	領域「健康」の指導法についてある程度理解でき、指導案を作成できる。	領域「健康」の指導法について少し理解でき、指導案を作成できる。	領域「健康」の指導法について理解できず、指導案を作成できない。
			④ 技能	30			30				保育者としての技能が理解できている	保育者としての資質	レポート	保育者としての技能が十分理解できている	保育者としての技能が理解できている	保育者としての技能がある程度理解できている	保育者としての技能が少し理解できている	保育者としての技能が理解できていない
		思考・判断	⑤ 情報活用能力															
			⑥ 課題解決力															
		表現	⑦ 言語活用能力															
			⑧ コミュニケーション力															
	実践	行動・応用	⑨ 主体性	20				20			グループ活動で役割を果たし、模擬保に貢献できる	リーダーシップ	模擬保育（実践）	グループ活動で役割を十分に果たし、模擬保育に十分貢献できる。	グループ活動で役割を果たし、模擬保育に貢献できる。	グループ活動である程度役割を果たし、模擬保育に貢献できる。	グループ活動で少し役割を果たし、模擬保育に多少貢献できる。	グループ活動で役割を果たせず、模擬保育に貢献できない。
			⑩ 協働性	20					20		グループ活動で意見を述べ、指導案作成に貢献できる	チームワーク	模擬保育（指導案）	グループ活動で意見をたくさん述べ、指導案作成に十分貢献できる。	グループ活動で意見を述べ、指導案作成に貢献できる。	グループ活動である程度意見を述べ、指導案作成に貢献できる。	グループ活動で少し意見を述べ、指導案作成に多少貢献できる。	グループ活動で意見を述べられず、指導案作成に貢献できない。
合計			100	30		30	20	20										